

第243回研究科委員会・第350回教員会議議事録

日時：令和5年3月8日（水） 13：30～16：30

場所：後援募金記念棟 会議室1-3

議題

◆研究科委員会◆

冒頭、研究科長から大学院関連の説明があった。評議会資料1-1に基づき、新研究科・専攻の入学手続完了者人数の紹介があった。理工研究科全体では定員を満たしている。運営会議資料1-1に基づき、大学院教育プログラム連絡調整会議の報告があった。教授からこれまでの連絡調整会議全体の状況について説明があった。

[審議事項]

1. 教務委員会

(1) 令和5年3月修了判定について

回収資料に基づき、博士前期課程の修了者について資料の確認依頼と説明があった。とくに質問はなく承認された。その後、未修了者について説明があった。

(2) 博士論文学位審査について（投票）

回収資料に基づき、まず、副委員長より博士論文審査の条件について説明があった。主査より学生Aの博士論文審査及び最終試験結果の報告があった。別の主査より学生Bの博士論文審査及び最終試験結果の報告があった。いずれも最終試験の結果は合格との判断であった。教授から学生Aの回収資料の研究題目（和文、英文）に不一致があるとの指摘があった。副委員長から修正したいとの説明があった。主査より、審査資料のほうが正しいとの返答があった。学生Bについては、とくに質問が出なかった。

副委員長より投票方法の説明があった。記名投票が行われ、両者とも総得票数46票、賛成46票、反対0票であった。副委員長より、修了しない者の説明があった。

(3) 教務関係取扱要項の一部改正について

資料1に基づき説明があった。研究科長から資料の補足説明があった。特に質問はなく承認された。

(4) 令和5年度学修案内（理工学専攻博士前期課程）について

資料2に基づき説明があった。もし意見等があれば3月13日までに委員長に連絡してほしいとの依頼があった。教授から、専門性重視型と学際性重視型の補足説明があった。また、大学院基盤科目「イノベーション・リテラシー」が必修になったとの付言があった。

(5) 令和5年度学修案内（環境放射能学専攻博士前期課程）について

資料3に基づき説明があった。もし意見等があれば3月13日までに環境研の担当准教授に連絡してほしいとの依頼があった。

2. 学生生活委員会

(1) 授業料未納による除籍について

資料4に基づき説明があった。特に質問は出ず、除籍スケジュールについて承認された。

3. 国際交流センター

(1) 2023(令和5)年度 特別研究学生の受入について

プロジェクト・投影により説明があった。ウクライナ国籍の特別研究学生を1年間受入れることに異論は出ず承認された。

[報告事項]

1. 教務委員会

(1) 令和5年度新入生ガイダンスについて

資料5に基づき学類・研究科両方の説明があった。特に質問は出なかった。

(2) 博士前期課程履修パターン（専門性重視型／学際性重視型）希望調査について

資料6に基づき説明があった。新年度から新カリになるため、重要な希望調査となる。Googleフォームに学生が入力するので、入力締め切りまでに各教員は学生に履修指導をよろしくお願ひしたいとの依頼があった。研究科長から、ガイダンス前から学生の相談に応じてほしいとの付言があった。副委員長から、イノベーション・リテラシーについて付言があった。

(3) 第84回全学教務協議会について

(審議事項)

・全学教務協議会ほか関係規程の改正について

資料7に基づき説明があった。全学教務協議会に二つの部会が新設される。特に質問はなかった。

・令和5年度非常勤講師計画（全体版）について

資料8に基づき説明があった。理工の希望はすべて認められた。教授から、非常勤の削減状況について質問があり、副委員長からあまり削減できていないとの返答があった。

2. 学生生活委員会

(1) 令和4年度3月期学生表彰について

資料9に基づき説明があった。理工学研究科からは、博士前期課程2名、後期課程1名の計3名が選出された。また、学類生についても表彰団体の中に数名の理工学類生が含まれている。

14:20で研究科委員会は終了した。

◆教員会議◆

[審議事項]

1. 学類長

まず資料5に基づき、新入生ガイダンスについての補足説明があった。10:30から11:30の間に1年生の保護者懇談会が開催されるので、教員にはぜひ参加してほしい。2教室あるので、分野別に入れ替える予定である。時間確保をお願いしたい。

(1) 特任教員の任用について

資料10（一部プロジェクタ投影）に基づき説明があった。学類長から学長裁量経費による支援と、研究および教育と普及啓発に関する職務にする説明があった。特に質問は出ずに承認された。

(2) 客員教員の任用について

資料11（一部プロジェクタ投影）に基づき説明があり、客員教授（継続）1名、客員教授（新規）2名の任用が承認された。

(3) 福島県ハイテクプラザ客員教員の任用について

資料12（一部プロジェクタ投影）に基づき説明があった。特に質問は出ずに承認された。

(4) 令和5年度委員会委員名簿（案）について

資料13に基づき説明があった。まず、評議員から全体の説明があった。次に学類長から全学委員についての補足説明があった。さらに、新年度の将来構想検討委員会や新たな検討チームの設置およびメンバーについて補足説明があった。意見や指摘事項があれば3月15日昼までに執行部3名に連絡してほしいとの付言があった。准教授から財務・施設委員について質問があり、学類長から返答があった。別の准教授から部局情報システム委員会についての質問があり、教授から情報提供があった。さらに別の准教授から過去にパスワード問題が発生した時の対応があったとの補足説明があった。

2. 教務委員会

(1) 令和5年3月卒業判定について

回収資料に基づき説明があり、内容の確認依頼があった。審議では特に質問は出ず、判定結果が承認された。高貝副委員長から、生物環境コースの教員に対して、カリキュラム取得問題があるようなので、留意してほしいとの依頼があった。教務課の主査から補足説明があった。

3. 学生生活委員会

(1) 授業料未納による除籍について

研究科委員会で審議済みのため省略。

4. 入試広報委員会

(1) 理工ホームページのシステム見直しに関わる検討事項

資料14に基づき説明があった。理工HPのシステムが老朽化している。学類運営会議では見直し案A案が候補となった。a教授から、大学の個人のページとの関係について説明があった。副委員長から、別途個人で準備する必要があるとの返答があった。b教授から環境放射能研究所のメリットについて質問があった。副委員長から、部屋予約に関するメリットの説明があった。c准教授から、各教員のHPについて、科研費審査委員も見ていると思うので、そのフォローについて質問があった。副委員長から、外部サーバーについてはさくらサーバーなどの選択肢があるとの返答があった。d教授から、レンタルサーバーの課題について発言があった。副委員長から、研究室HPの運用については今後検討していきたいとの返答があった。学類長から、課題について入試広報委員会で引き続き検討してほしいとの発言があった。e教授から、全学定例記者会見の内容は全学HPで掲載されているが、それが自動で学類のHPに掲載されないかとの意見があった。副委員長から、NKテックに依頼することになれば、可能ではないかとの返答があった。全体の方向性については承認され、A案をもとに今後検討を進めていくことになった。大学院コンテンツ（英語版）に関する意見照会について副委員長から説明があり、理工としての提案の説明があった。

[報告事項]

1. 教務委員会

(1) 第84回全学教務協議会について

(審議事項)

- ・学生等調査におけるデータの紐づけについて

資料15に基づき説明があった。意見があれば3月20日までに委員長へ連絡してほしい。

2. 基盤教育委員会

(1) 2023（令和5）年度非常勤講師計画（基盤教育科目）について

資料16に基づき説明があった。特に質問は出なかった。

3. 学生生活委員会

(1) 令和4年度3月期学生表彰について

研究会委員会で報告済みのため省略。

(2) 学生フォローアップについて

資料17に基づき説明があった。2年生対象のコース懇談会を開催してほしいとの依頼があった。後期でも懇談会開催を検討していきたい。学類長から、学生間のコミュニケーション作りのきっかけにしてほしいとの付言があった。

◆教育研究評議会◆

○第395回(2月27日開催)報告

【審議事項】

(1) 大学院の改革について【資料1】

研究科長から説明済みのため省略。

(2) 学内諸規則等の制定について

資料2に基づき説明があった。理工からはとくに意見はなかった。資料2-2、69ページ第3条についての学類長の質問内容が紹介された。

(3) 農学系研究科(博士課程)設置構想検討委員会の設置について

資料3に基づき説明があった。前期課程の完成年度末に向けて設置が了承されたとの報告があった。

(4) 第3期中期目標期間(6年目終了時評価)に係る業務の

実績に関する評価結果(案)について

資料4に基づき説明があった。

【報告事項】

(1) 第3期中期目標期間の教育研究に関する評価報告書(案)について【資料5】

前回の報告で説明済みなので省略。

(2) 研究力向上プランについて(最終報告)

資料6に基づき説明があった。4つの推進プランや研究環境の改善、ロードマップ(案)が紹介された。資料6-6に基づき「研究担当責任者」の選出依頼について説明があった。資料6-7に基づき、目標値の設定や数値についての説明があった。

(3) 外部研究資金獲得手当の導入について

資料7に基づき説明があった。資料7-1で提案内容の説明があり、「外部研究資金獲得手当」として研究者に25%戻ってくる。新年度からこの制度が始まる。

(4) 就業規則の制定等について

資料8に基づき説明があった。資料8-1で具体的な説明があった。

(5) 国立大学法人福島大学と国立研究開発法人日本原子力研究開発機構の

クロスアポイントメント制度に関する変更協定の締結について

資料9に基づき説明があった。具体的資料は非公開となっている。

(6) 国立大学法人東北大学と福島大学とのクロスアポイントメント制度に関する

協定書の締結について(継続)

資料10に基づき説明があった。具体的資料は非公開となっている。

(7) 福井大学と福島大学とのクロスアポイントメント制度に関する協定の締結について

資料11に基づき説明があった。評議会では書面報告であった。

(8) ウクライナ国立生命環境科学大学と環境放射能研究所との学術

交流に関する覚書(部局間)の締結について

資料12に基づき説明があった。評議会では書面報告であった。

学類長から、研究力向上と外部研究資金獲得手当の導入について補足説明があった。教授から外部研究資金獲得手当の導入については報告事項かとの質問があり、学類長からそうであるとの返答があった。教授から科研費の分担者の場合について質問があり、学類長から代表者の場合が該当するとの返答

があった。教授から分担の場合の説明は4月に入ってからでは遅いとの指摘があり、「変更後」の記述に問題があるとの意見があった。学類長から確認したいとの発言があった。別の教授から、科研費分担者も入るとの指摘があった。学類長から、これまでの議論の経緯について補足説明があった。准教授から再配分について質問があり、手続きの煩雑さや税金との関係について懸念する意見が出された。別の准教授から、過半数代表者からの照会メールの紹介があり、そこでも意見が出せるのではないかとの指摘があった。学類長からこれまでの経緯で賛否の意見が出されてきており、現状では変更は難しいとの発言があった。教授からコンプライアンス的に問題はないのかとの指摘があった。学類長から、意見等があれば学類長に連絡してほしいとの発言があった。

◆運営会議◆

○第184回（3月7日開催）報告

（1）大学院の改革について【資料1】

説明済みのため省略。

（2）令和4年度福島大学運営計画中間報告について

資料2に基づき説明があった。資料2-1に基づき12月末の進捗状況の説明があり、評価ⅡとⅣの事項について内容説明があった。

（3）令和4年度ストレスチェックの結果報告について

資料3に基づき説明があった。提出率は74.5%で、R4年度は高ストレス者率が上昇した。理工学類の総合点は「107」で、ここ数年上昇している。

（4）その他

①来年度の会議スケジュールについて

資料4に基づき、新年度の案が示された。